

## セレンディピティを探して

2024. 9. 19

特に目的もなく、まちを歩いていると、意外な発見があったりする。セレンディピティを期待しているわけではない。セレンディピティとは、素敵な偶然に出合ったり、予想外のものを発見したりすることである。また、何かを探しているときに、探しているものとは別の価値のあるものを偶然見つけることである。ふとした偶然をきっかけに、幸運をつかみ取ることともいえる。

このセレンディピティという言葉が好きである。言葉が好きというよりは、偶然の出来事に心動かされるのが好きといった方が合っているかもしれない。考えていたことを解決してくれそうなことが書かれてある本を、たまたま本屋さんで見つけて嬉しくなることがある。これが、解決しようとして必死に本を探そうとすると、なぜか見つからない。何の欲もなく、何気なく本屋さんを歩いていると、なぜか見つかるから不思議である。

物を探するときもそうである。欲しいものがあり、あちこち探して歩く。たいていの場合、想定したものは見つからない。仕方なく妥協する。あるいは、いったんあきらめる。しばらくして、何気なく歩いていると、ふと欲しかったものが、目の前に現われることがある。そして、この前、妥協したことを後悔する。こういったことはよくある。

観光地を訪れる。それなりに事前学習をする。お目当てのものは、なかなか見つからない。ところが、意外なものを見つけたりする。こんなものがあつたのか。探しものが見つからないと、気分的にはよくない。それでも、意外な発見のおかげで嫌な気分も薄まる。

予期しない出来事との出会いが、まちを歩くという行為の醍醐味なのかもしれない。心を動かすような出来事など、そう簡単には起きないだろうと思う。だが、そうでもない。どうすれば、セレンディピティに出合える確率を上げられるか。確実な答えはないが、一つ考えた。それは、事前の準備をしないことである。あれこれと調べすぎないことである。調べないことで、おもしろそうな素敵な光景に出合えるような気がする。

期待していると、そうはならない。何の期待感もなく、何となく行動していると、セレンディピティと出合うことが多い。セレンディピティは、期待していると出合うことはできない。セレンディピティのことなど忘れていると出合えたりする。ままならないものである。そこが、魅力でもある。これからも、セレンディピティのことなど意識しないで、何気なく、何となく行動する機会を大事にしたい。それが、セレンディピティを探すことになる。